
君と見上げた空。

青空知秋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と見上げた空。

【Nコード】

N9629P

【作者名】

青空知秋

【あらすじ】

今日から桜ヶ丘中学校の2年生になった^{あおぞらちあき}青空知秋。去年までは恋とかもあんまりうまくいかなかったけど今年は…。中学生の友情、恋愛を描いた作品です。

プロローグ（前書き）

前回と同タイトル・同主人公ですが、内容は変えたつもりです。ただ、半分フィクション、半分ノンフィクションのところは変わっていません（笑）。

一人でも多くの方が読んで下さるのを、心からお待ちしております？*、▽、*？

プロローグ

「ヤバイ、遅刻しちゃうー!!」

現在8時10分。あと10分しかない。始業式から遅刻するのはさすがにまずい…。そんなことを考えながら、学校までの道を走った。

「はあ…。間に…合っ…た…。」ギリギリのところで教室に飛び込み、座席表を確認する。席に着き、やっと落ち着いた。

私は青空千秋。あおぞらちあき今日から中2になる。私の通う桜ヶ丘中学校は、田舎の小さな学校である。全校生徒数は…200人もいない。

中2になると、クラス替えがある。そして、このクラスで卒業までの2年間を過ごすことになる。

「今年も同じクラスだね。知秋と一緒によかったあ。」

そう話しかけてきたのは、照井麻耶。てるいまや中学校に入ってから仲だけど、「親友」というレベルを超えている。…と思っているが、麻耶はどう思っているんだろう…。そこは分からない…。

「うん!麻耶と一緒によかったあ。今年もいっぱい語ろうぜっ!」

「今年も語るぞー!!」

そんな話を話しているうちに、教室のドアが開いた。

「これから始業式があるので体育館に移動してください。」

たぶん私たちの担任であろう広島優子ひろしまゆうこがそう言った。始業式で担任が発表されるまで正式には分からないが、クラス全員そう思っている。

無事に始業式も終わり、友達と騒ぎながら通学路を帰る。今年はどんな年になるんだろう…。

「痛っ!何すんの?!」

いきなりカバンでたたかれた。

「ぼーっとしてるからじゃん。もしかして恋のお悩み!?!」

「違うって。」

そんな話ばかりしていると、すぐに家に着いてしまった。

「じゃ、また明日ね。」

「うん。知秋ばいばい。」

こうして、私の忘れられない1年が始まる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9629p/>

君と見上げた空。

2011年1月5日18時04分発行